

Consul Firm Contents

www.ene-web.com/cfc/

通巻 29号 2011年(平成23年)7月20日発行

発行所/コンサルファーム有限会社 取材・編集/株式会社ノラ・コミュニケーションズ
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-6 アライビル7階 tel. 03-3204-9401 fax. 03-3204-9402 info@noracom.co.jp



東日本大震災により被害を受けられたみなさまに、謹んでお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

愛犬家住宅のススメ

すべての愛犬家の願いを叶えるために

株式会社ワンオンワンの代表取締役・中嶋宏一氏の著書「愛犬との暮らしをもっと豊かに楽しくするために～安心・安全・快適な住まい『愛犬家住宅』」(諏訪書房新書)が出版されました。中嶋氏が「愛犬家住宅」を提唱して3年が経ちます。すべての愛犬家に安心・安全・快適な住まいを届けたい——中嶋氏がそう思うようになったのは、愛犬家の願いと、住宅関連事業者との間に生じていた溝(顧客ニーズとのギャップ)を埋めたいという思いからでした。



滑りやすいフローリングは愛犬家にとって大きな悩み

クルマ、家電、住宅が愛犬家対応を進める

昨今、少子高齢化が顕著となり、新車や書籍、水道使用量など消費市場そのものの規模が小さくなってきています。住宅業界も例外ではなく、ここ20年間で新設住宅着工件数は半減し、10年間でも3割以上減少しています(国土交通省調べ)。

そんな中でも、着実に伸びているのがペット市場です。特に犬を室内で飼う家庭は年々増え続けており、それに合わせ、自動車や家電の業界だけでなく、デパートなども愛犬家対応に本格的に取り組み始めています。

では、住宅業界はどうでしょうか？

残念なことに、住宅業界はまだ愛犬家への対応が十分とは言えません。しかし、ここ数年続いているペットブームにより、愛犬家エンドユーザーによるニーズ・ウォンツが高まってきています。



◎注目される資格「愛犬家住宅コーディネーター」の資料は当社からお取り寄せいたします。



携帯電話で本紙ホームページのアドレスを送信

愛犬家対応ができる人材の育成

愛犬家に「ワンちゃんと暮らすうえで、何かお悩みはありますか？」と尋ねると、返ってくる答えはだいたい決まっている、と中嶋氏は言います。“愛犬家の三大お悩み”と呼ばれる「床の滑り」「ニオイ」「キズ・汚れ」です。床の滑りは、室内で過ごす愛犬にとって致命的な怪我や病気の原因となりますし、ニオイやキズ・汚れは、快適で清潔な住まいを実現するための障害となってしまいます。ですから、これらを取り除いてあげることが、住宅関連事業者の役割であり、使命であることは疑いようがありません。

しかし、そんな愛犬家たちに対して、十分に配慮して住宅づくりができる業者はまだそう多くないそうです。“住まいのプロ”のうち、実に8割以上の方が「愛犬家対応には自信がない」と答えているとのことでした。ですから、まずは愛犬家が安心・安全・快適に暮らすことができる住まい、「愛犬家住宅」を提供できる人材を育てることが必要なのだと中嶋氏は考えたのです。

コンサルファームコンテンツ

検索

無料配布

◎このフリーペーパーは、株式会社ノラ・コミュニケーションズとミニコミ誌「のらこみ」のネットワークを中心に、関係者からご紹介・ご案内いただいた方々に無料でお送りしています。

信頼を得る愛犬家住宅コーディネーター

そこで生まれたのが、「人と犬が暮らす住まいの専門家」である「愛犬家住宅コーディネーター」（以下A J C）という資格です。資格取得者は住宅関連事業者をはじめとして年々増加しており、A J Cによる愛犬家住宅提案の事例も増えてきました。詳しくは、著書の中で紹介されています。

活躍しているA J Cに共通していることは、お客様＝愛犬家の共感を呼び、信頼を得て、魅力的な提案をしているということです。

この資格が、住宅関連事業者が愛犬家住宅を提案するにあたっての自信となり、愛犬家が安心・安全・快適な住まいを実現するお手伝いができるのならば、これに勝る喜びはないと中嶋氏は語ります。



ウッドデッキやガーデンルームは愛犬家のリフォームニーズが高い空間

諏訪書房新書

◎全国有名書店、Amazonにて好評発売中

愛犬との暮らしをもっと豊かに楽しくするために 安心・安全・快適な住まい「愛犬家住宅」

株式会社ワンオンワン 中嶋 宏一 著

新書判 220 ページ 定価 1,050 円 (税込)



愛犬家住宅コーディネーターの活躍事例を多数掲載！

犬を飼う誰もが愛犬との暮らしをもっと豊かに、楽しくしたいと思っています。また、すべての愛犬家の一番の願いも共通しています。それは、「愛犬にいつまでも健康で長生きしてほしい」ということです。その基礎は、愛犬を「上手に育て」、愛犬と「上手に住まう」ことに他なりません。そのための取り組みが「愛犬家住宅」なのです。（「はじめに」より）

内容（目次）

第1章 愛犬家消費市場の全体像

第2章 愛犬家住宅市場とは

第3章 愛犬家住宅提案の前に知っておくべきこと

第4章 愛犬家住宅提案の取り組み

第5章 愛犬家住宅提案で力を発揮するために

第6章 愛犬家住宅提案の事例

第7章 愛犬家住宅はエコ住宅

おわりに ～「愛犬家住宅」のこれから

中嶋 宏一（なかじま・ひろかず）

株式会社ワンオンワン 代表取締役

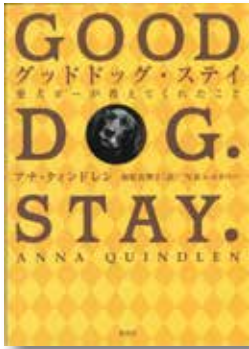
1962年生まれ。1985年大学卒業後リゾート事業会社に勤務し、2000年独立。

複数の事業を創業しながら、2004年4月に株式会社ワンオンワンを設立。

本書のタイトルでもある「愛犬との暮らしをもっと豊かに楽しくするために」をコンセプトに「愛犬家住宅」を提唱し、教育事業を核として、さまざまな分野で新しいビジネスモデルの構築に力を注いでいる。住宅分野の企業ともコラボレーションし、需要創出・市場創造に積極的に取り組んでいる。



● NORACOMI 編集部門の仕事 ●



グッドドッグ・ステイ 愛犬ボーが教えてくれたこと

アナ・クインドレン 著 相原真理子 訳 ホタパパ 写真
集英社 定価1,365円 (税込)

NORACOMI が
かかわった本です
書店にて
お買い求めください

私の犬が思っているような人間に、私はなりたい

ラブラドルレトリバーのボーは、多くの犬がそうであるように、池で遊んだり、リスを追いかけたり、骨をしゃぶったり、日なたで昼寝をしたり……。毎日毎日、同じことを繰り返して過ごしていました。曲折浮沈の人生を歩む人間と違い、シンプル。言い方を変えれば、なんて退屈な日々だと思える人もいるでしょう。でも、過去や未来を気にすることなく、“いま”をあるがままに受け入れることができ、そして、その中で、あるがままの自分を

評価することができれば、幸せな人生を送れるということもボーは教えてくれます。

ピュリッツァー賞作家が描く愛犬との日々、別れ、人生。未来が定まらず不安を感じ、生きることに悩んでしまったとき、ぜひこの本を手にとってみてください。大人気ブログ「犬の写心家とホテルBLOG」の“写心家”ホタパパによるワンちゃんのフォトも満載の一冊です。

NORACOMIネットワークの 相続・不動産コンサルタントの本

右手康登がコーチする

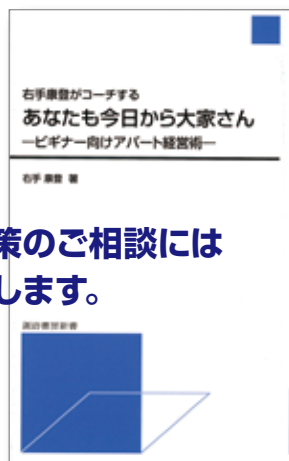
あなたも今日から大家さん

—ビギナー向けアパート経営術—

右手 康登 著

新書判 160 ページ

定価 1,050 円 (税込)



賃貸経営や相続・税金対策のご相談には
実績ある専門家をご紹介します。



右手 康登 (うて・やすと)

相続・不動産経営コンサルタント

大手住宅メーカーのトップセールスマンとして活躍した後、2002年に独立し、相続や不動産経営などのアドバイスを中心に行う不動産コンサルティング会社 新都市総合管理㈱を設立し現在に至る。CPM® (不動産経営管理士)、IREM Faculty (IREM認定講師)、不動産コンサルティング技能登録、宅地建物取引主任者、2級ファイナンシャルプランニング技能士、定借プランナーほか各種資格を保有し、関連団体の正規会員でもある。

駒澤大学経営学部卒。1963年横浜市生まれ。

アパートの大家さんは社長と同じ!

会社や商店は、商品やサービスを市場に提供して、それらが市場に受け入れられる、つまり、売ればお金になります。アパートも同じで、空室という商品、賃貸住宅という商品が市場から受け入れられれば、家賃という形でお金になります。

これは、言うまでもない、当たり前のことだと思われるかもしれませんが、現実には、ご自分が経営するアパートがそういうものになっているかどうかを、冷静に、徹底的に突き詰めて考えているオーナーは案外少ないのです。

まず、この“経営マインド”をもって臨むということが、アパート経営の第一歩です。

本書では、アパート経営を始める大きなきっかけとなる相続のことや、大家さんの天敵である空室の対策、家賃設定、また自身の物件をいかに魅力的にPRするかのコツなどを、右手康登コーチがわかりやすく解説。アパート経営についての基本的な知識とヒントがちりばめられている、アパートの大家さん必見の一冊です。

春秋余情 私のほどほど人生

大森 清司 著・山本 重也 イラストレーション
 諏訪書房(株式会社ノラ・コミュニケーションズ) 定価 735円(税込)



完璧を狙わず、ほどほどに収めるところに人生の要諦がある。

『私のビジネス春秋』から2年——。2011年7月、その“姉妹編”、またワーク・ライフ・バランスの“ライフ編”とも言うべき『春秋余情 私のほどほど人生』が出版されました。50年のビジネス社会を懸命に生き抜いた一サラリーマンが、友人、故郷、仕事、健康、趣味、そして家族を通じ、自身の「ほどほど人生」を振り返りながら、感謝の気持ちを込めて綴った人生論的エッセイ。著者が語る、「ほどほど」の真髄とは——？

「ほどほど」は「中庸」への道

「ほどほど」とはあいまいで、ファジーな概念である。悪くいえば「曖昧模糊」「いい加減」であり、よくいえば「いい塩梅^{あんばい}」または「中庸」ということになる。ここでは後者の「塩梅」「中庸」の意味での「ほどほど」を



キーワードとして、わが人生を振り返ってみようと思った。(第一章『「ほどほど」のすすめ』より)

イラスト 山本 重也(やまもと・しげや)

イラストレーター。(New York) THE SOCIETY of ILLUSTRATORS会員。国内をはじめニューヨークや韓国など海外での展覧会で作品の発表を続けている。1日1枚描く「日常茶飯絵」を2003年11月から1日も欠かさず継続中(ホームページに掲載)。

ホームページ <http://www.shige-web.com>

努力なくして「ほどほど」はなし

「ほどほど」を貫くことは必ずしもやさしことではない。「ほどほど」は、甲と乙を結ぶ直線の中間点というより、「天地人」というトライアングルの中心点というイメージであり、それだけに中心点を見出すのは難しいのである。さらにいえば「正反合」の「合」を求めることともいえよう。従って、かなりの努力が必要となる。人の一生とはある程度の分をわきまえ、謙虚に「ほどほど」の生き方を求める旅ではないかという気がしてならない。(第一章『「ほどほど」のすすめ』より)

大森 清司(おおもり・きよし)

1937年8月 千葉県野田市生まれ。1960年 中央大学法学部卒業。1960年 野田醤油株式会社(現キッコーマン)入社。日本カルパックなど子会社3社に転向。その後本社営業企画部長、デルモンテ事業部長などを経て、1994年取締役就任。総務部長の後、総合病院、品質保証、危機管理、環境、広報・IR等を担当。2002年代表取締役専務として全国の営業を統括。2010年退任。

この間、日本マーケティング協会マスターコースマイスター、全国トマト加工品業公正取引協議会委員長、学校法人中央大学理事などを歴任。著書に、本書の姉妹編となる『私のビジネス春秋』(諏訪書房)がある。趣味は読書、詩吟。

『春秋余情 私のほどほど人生』の姉妹編

私のビジネス春秋

大森 清司 著 藤谷 和春 表紙・挿絵

諏訪書房 定価 2,100円(税込)

キッコーマン元専務が綴った、ビジネスの現場、コンプライアンス、母校・中央大、故郷・野田。伝統企業の中で縦横に活躍した50年のビジネスマン・ライフ。

